

第10回千葉放課後連研修会報告

平成28年2月21日
千葉放課後連
事務局 担当 宮下

- 1.日時 平成28年2月14日 10:00～13:00
- 2.場所 千葉市中央福祉センター(キボール11階)
- 3.内容 学齢期を豊かに過ごすために～これからの障害児支援を考える
- 4.講師 ○田中 齋氏(千葉県社会福祉事業団)
- 5.参加者 43名+役員8名

6.当日の流れ

- 9:00～ 役員集合・会場設営
- 9:30～ 講師打合せ
受付開始
園山会長挨拶
- 10:00～ 講演① ・これまでの障害児支援の在り方や役割について

・学齢期の支援を行う上で大切にしなければならないことについて考え、

障害児支援の見直し検討会などで話し合い、現在の放課後デイサービスの形となったことについて

・自主点検表を活用する大切さについて
- 11:20～ 休憩
- 11:30～ 講演② ・これからの障害児支援で必要となる事について
(家族支援・地域社会との連携)

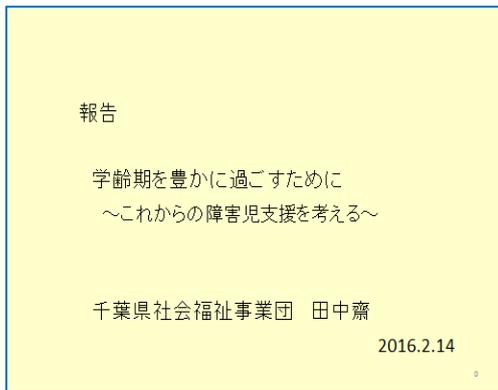
・深刻化する虐待問題の背景・放課後デイにできることについて

7.質疑応答

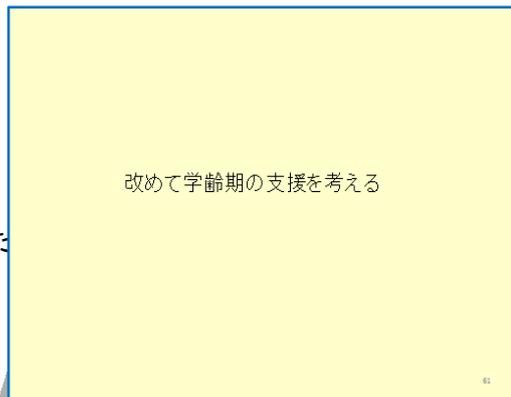
- 質問: 18歳を過ぎ、放課後デイの対象でなくなってしまった利用者(進路が決まっておらず、保護者の希望もあり)を、日中一時で預かりしているが、報酬が半減してしま困っている。このような時、どうしたらよいのか、また、どこへ相談すれば良いのか?
- 回答: 今回のケースは、重身の方ということなので医療系施設との連携が必要となって来るのでは?
また、この様な場合に対応できる様に医療的ケアを必要とする人(児)の場合と障害児施設の整備をきちんとして行く必要がある。このような、現場の声を国へとあげていくことが大事である。
- 質問: :講演の中で、契約制度となった後も、地方によっては措置率の高いところがあるのはなぜだとかんがえられるか?
- 回答: 児童期における子供が持つ権利等への認識、理念の違いから都道府県によって違っていると考えられる。(契約制度では、こどもが自ら選択したり、決定する事を認められている制度だが、実際に選択・決定することが難しいのではないか。

12:30 田中副会長の挨拶
終了
撤収

8.写真記録



講師の田中先生のご講義を聞く受講生たち
定員一杯で少し窮屈でしたが時間が足りないくらいでした



千葉放課後連会長園山より挨拶



司会は千葉市バンブーアイランド竹嶋が勤めました。

9.会計

円

収入	参加費	51,000	参加者51名×1000円
支出	会場費	0	
	講師謝金、交通費	5,000	交通費にのみ
	通信費	0	郵送代寄付
	食物費	0	スタッフ弁当等なし
残		46,000	